

# 医薬品・食品における熱物性評価

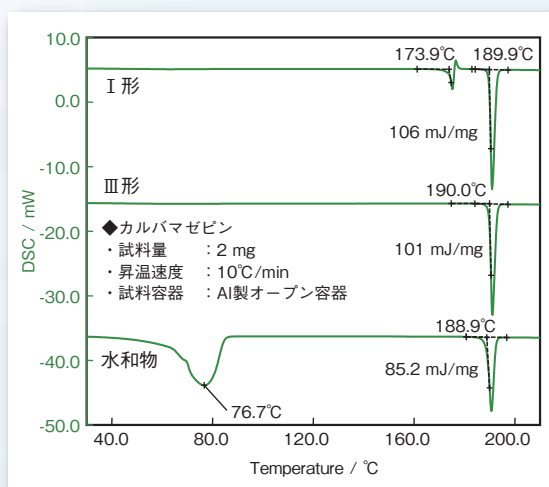
## 高感度型示差走査熱量計 DSC7000X

Thermal Characterization for Pharmaceutical Materials and Food Products

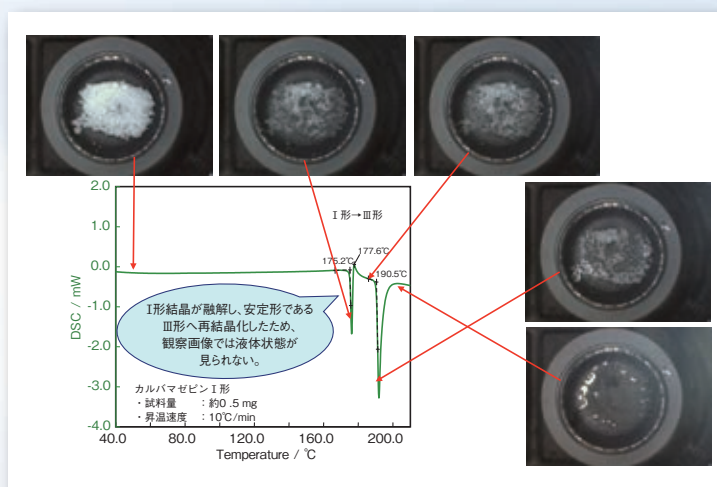


### ◎ 医薬品における熱分析事例

#### 結晶多形のDSC測定

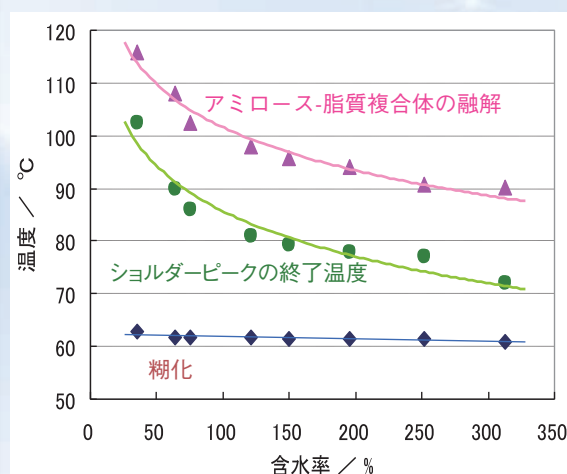
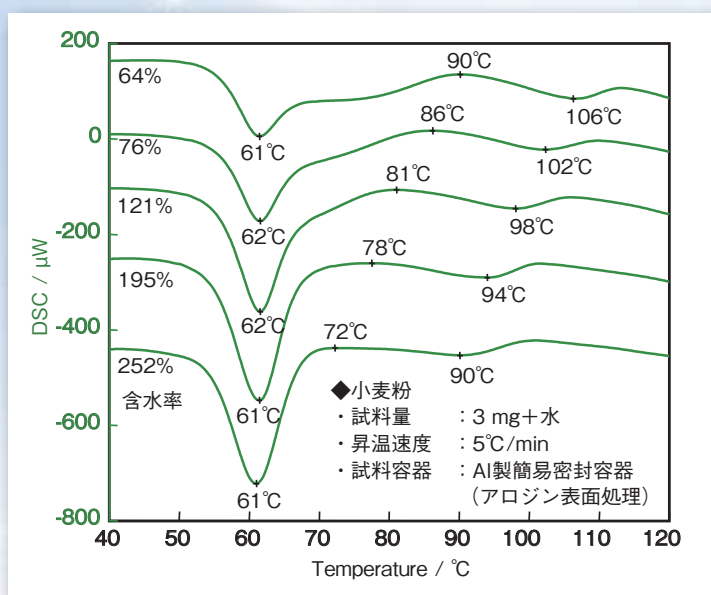


#### リアルビューDSC



I形結晶の融解が170°C付近に、Ⅲ形結晶の融解が190°C付近に現れている。  
水和物試料では、76°C付近に、結晶水の脱離による吸熱ピークが見られる。  
医薬品の結晶形態と、熱安定性を確認できる。

### ◎ 食品における熱分析事例



60°C付近に、でん粉中のアミロースによる糊化の吸熱ピークが観測されているが、含水率の依存は見られていない。  
一方、糊化の終点(70~90°C付近)は含水率に依存し、水の添加量が多いほど低温で収束している。